

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	サイクルシティ堺企画運営事業				事業番号	019-089	
担当部署名	建設局	局	サイクルシティ推進部	部	自転車企画推進課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(6)自転車を活かした魅力の創出	
			有	取組の方向性	⑤サイクルシティとしての魅力創出				
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度				
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)		目標値	50.0%(2025年度)	
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4	
			有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			堺市自転車活用推進計画					
3	事業開始年度			平成 14 年度		点検対象年度（個別計画）		令和 9 年度	
4	実施根拠			自転車活用推進法、堺市自転車のまちづくり推進条例					

事業の概要

5	事業の実施主体		本市、堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会、堺 自転車のまちづくり・市民の会、民間企業等				
6	事業の対象		堺市民及び来堺者（不特定多数）			対象数	単位
						約80万	人
7	事業の目的		「堺市自転車のまちづくり推進条例」及び「堺市自転車活用推進計画」の趣旨に則り、堺独自の自転車の歴史文化を活かした幅広い分野での取組や自転車の利用環境を充実させ、「サイクルシティ堺」としてのブランド力や都市魅力を向上させる。				
8	事業内容		○シマノ自転車博物館と連携した、本庁や阪堺電車内での自転車の絵画作品展示、健康をテーマにした講習会等の実施、同博物館の見学会や出前講座等を活用した本市における自転車の歴史文化の発信 ○堺まつりや区民まつり等の大規模イベントにおいて、本市における自転車の歴史文化や「サイクルシティ堺」の取組の発信 ○大和川リバーサイドサイクルライン沿線自治体と連携した相互サイクリングの実施やサイクリングコースの発信による周遊促進 ○自転車月間や大和川サイクル月間に合わせた、市内周遊デジタルスタンプラリーの実施 ○シェアサイクル事業の実施 ○「堺 自転車のまちづくり・市民の会」と連携した、自転車利用の促進や自転車交通ルールの周知・啓発の実施 ○さかい自転車リーダー養成講座の実施（自転車利用推進委員（自転車リーダー）の認定） ○堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会の開催				
	※国・府の基準より上回って実施した内容		—				
9	主な支出先		さかい自転車リーダー養成講座業務委託事業者 等				
10	公民連携・協働事業		シマノ自転車博物館と連携した自転車の絵画作品の展示や講習会等の実施、OpenStreet（株）と協定に基づくシェアサイクル事業の実施、堺 自転車のまちづくり・市民の会（ボランティア団体）と連携したさかい自転車デー等の実施、サカイサイクル（株）と連携協定に基づくこども向け自転車教室の実施				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
11	「サイクルシティ堺」としての都市魅力の認知度	%	目標値	—	—	54	58
			実績値	—	—		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	「サイクルシティ堺」として都市魅力を向上させることが、新たな市内誘客や交流促進につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	過半数以上の方に「サイクルシティ堺」の都市魅力を認知してもらうため、2030年度の目標値を70%と設定した。これを踏まえ、堺市基本計画2025のKPIとして設定していた「自転車利用環境の満足度」の最終目標値である50%を基準とし、2030年度目標値から割り戻し、初年度である令和8年度目標値を設定した。 令和8年度目標値：54%＝50%＋（70%-50%）/5年 令和9年度目標値：58%＝54%＋（70%-50%）/5年						
12	活動指標	単位		実績		目標	
	シェアサイクル年間利用回数	回		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	—	230,000	400,000	
			実績値	210,070	306,411		
	達成率	—	133%				
	当該指標を選定した理由	シェアサイクルの利用回数の増加が、自転車の利用環境や市内の回遊性の向上につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	シェアサイクルラックの増設と利用回数に相関があると仮定し、ラック増設率（令和4～令和5年度）を利用回数に掛けて算出。						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	サイクルシティ堺企画運営事業	事業番号	019-089
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	9,198	8,148	2,273	2,771	7,021
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ 堺市自転車環境共生まちづくり基金等 ）	4,845	2,779	1,751	1,770	2,101
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	30,780	25,180	40,320	40,320	37,410
	一般財源	4,353	5,369	522	1,001	4,920
15	年間経費（c）=(a)+(b)	39,978	33,328	42,593	43,091	44,431

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
16	事業費内訳	さかい自転車デー及び散走等イベントの推進・自転車リーダー養成講座	R7 決算	1,750	0	「サイクルシティ堺」発信に係る経費等	R7 決算	977	957	
			R8 予算	1,700	0		R8 予算	1,673	1,272	
		「サイクルシティ堺」アンバサダーに係る経費	R7 決算	0	0		R7 決算			
			R8 予算	1,830	1,830		R8 予算			
		「サイクルシティ堺」フォトコンテスト実施経費	R7 決算	0	0		R7 決算			
			R8 予算	100	100		R8 予算			
		ウォールアート実施経費	R7 決算	0	0		R7 決算			
			R8 予算	1,638	1,638		R8 予算			
		修繕料（ＴＳマーク更新）	R7 決算	44	44		R7 決算			
			R8 予算	80	80		R8 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

		区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	①	自転車を活用した体験イベント参加者数	人	1,700	202
	②	上記①にかかる年間経費	千円	4,723	0
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2,778	—
	算出についての説明等		令和6年度は大和川リバーサイドサイクリン完成記念イベントや子ども向け自転車教室、BMX体験会、インクルーシブサイクリングを業務委託により実施した。 令和7年度は本市と連携協定を締結している民間事業者により、子ども向け自転車教室を実施した。また、直営でサイクリングイベントの実施やスマートフォンアプリを活用したサイクリングコースの発信など経費をかけることなく実施した。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	これまで幅広い年代に自転車の楽しさや楽しむ“きっかけ”に触れる機会を創出するため、子ども向け自転車教室やBMX体験会等を実施してきた。特に、令和6年度は大和川リバーサイドサイクリン完成記念イベントを実施し、より多くの方に自転車を楽しむ機会を創出した。	
	令和7年度は、これまで業務委託により実施してきた子ども向け自転車教室を、連携協定を締結している民間事業者により、経費をかけずに実施することができた。また、完成したサイクリンの利用を促進するため、新たに沿線自治体と連携し、相互に往来するサイクリングイベントを実施した。実施後は、市ホームページで魅力スポットと合わせたサイクリングルートの掲載やスマートフォンを活用した自転車周遊アプリへのコース登録を行うことにより、自主的な周遊促進を図っている。	
	なお、昨年度の事務事業評価シートの成果指標としていた自転車利用環境の満足度については、令和6年度が目標47%に対して実績41.6%、令和7年度が目標50%に対して実績41.9%であった。	

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	「サイクルシティ堺」としての都市魅力を向上させるため、大阪・関西万博へのアクセスとして大和川リバーサイドサイクリンの活用をPRする走行会の実施や、同サイクリンの沿線市と連携したサイクリングイベントに取り組み、新聞5大紙やテレビ等のメディアに取り上げられた。 また、「サイクルシティ堺」としての都市魅力の認知度を向上させるため、シマノ自転車博物館と連携した、阪堺電車内での自転車の絵画作品展示や出前講座等に合わせ、本市における自転車の歴史文化や自転車を活用したさまざまな取組を発信した。さらに、「サイクルシティ堺」ロゴマーク入りタペストリーや街路灯吊幕を掲出し、多くの方に「サイクルシティ堺」のイメージが浸透するよう取り組んだ。 シェアサイクル事業については、運営事業者と連携を図りながら、利用の多い駅周辺や生活に密着した商業施設、大仙公園内の気球のりば前等にシェアサイクルポートを拡充し、市内周遊の促進や移動の利便性を向上させた。 （シェアサイクルポート数：令和7年3月末時点 239か所／令和8年3月末時点 300か所 61か所増加） 今後も「堺市自転車活用推進計画」に基づき、多様な主体と連携し、「サイクルシティ堺」の推進に向け、本市の自転車の歴史文化の発信や自転車の利用を促進させる。	
----	--	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度まではコミュニティサイクル事業を中心に事業を展開していたが、令和4年度以降、堺における自転車の歴史文化の発信強化に加え、観光や健康、スポーツ、アート等の分野とも連携した多彩な取組を進め、「サイクルシティ堺」としての都市魅力の向上につながっている。
	有効性	■ 高い □ 低い	【新聞5大紙への掲載件数】R5 7件／R6 8件／R7 9件 【シェアサイクルの年間利用回数】R3 39,636回／R4 68,776回／R5 108,014回／R6 210,070回／R7 306,411回